

学校教育目標 『夢を持ち 未来を 拓く子』

○よい子（やさしさと自律心を持った子ども） ○強い子（心身ともに健康な子ども） ○勉強する子（学ぶ喜びがわかる子ども）

令和5年度
滑川町立宮前小学校
学校経営グランドデザイン

令和3年度 「やった！できた！みてみて！」
の聲があふれる学校

令和4年度 「ほら、できた！」
「やった！できた！みてみて！」
の聲があふれる学校

「子どもたちの思い」
開校151年目を迎え、
宮小の新時代を
つくっていく！



<目指す学校像>

「ナイス、トライ！」の聲があふれる学校

<目指す児童像> 人として基本的なことができる「人間力」を持つ児童

- あいさつができ、相手の幸せを願う言葉遣いができる
- 感情をコントロールすることができる
- 意見や考え方の違いを解決できる
- きまりを守って健康・安全な生活ができる
- 進んで体を動かすことができる
- 基本的な生活習慣を身に付ける
- しっかり準備し、しっかり学ぶ
- 人の話をしっかり聞き、建設的に主張する
- 目標達成のために、友と協働する

◇ 学び方を身に付ける

- ・ 各種学力調査結果を活用し授業改善する
- ◎ 主体的対話的で深い学びを目指した授業づくり
- ・ タブレット端末の効果的な活用方法の探究
- ・ 学校課題研究の推進
- ・ 学習習慣を身に付ける
- ・ 「家庭学習のすすめ」「ターナちゃんノート」の活用

◇ 健康で安全な明るくきれいな環境づくり

- ◎ 手洗い・うがい・咳エチケット・歯磨きの見届け
- ・ 安全点検、すばやい修繕の徹底
- ・ 5S（整理 整頓 清掃 清潔 躰）の徹底

◇ 家庭、地域、関係諸機関との連携

- ・ 教育委員会、町長部局、警察等との連携
- PTA、学校応援団との連携
- ◎ 学校運営協議会の導入
- ・ 学校間連携の推進

◇ 運動を愛好し、体力をつける

- ◎ 体育的活動の充実と運動の楽しさを味わわせる授業づくり
- ・ 食育の推進
- 体力プロフィールシートの活用

◇ 道徳教育、生徒指導、教育相談、特別支援教育、人権教育の充実

- ・ 「よい子のやくそく」の徹底
- ◎ いじめや差別のない人間関係づくり 人権感覚の育成
- ・ いじめ防止対策推進
- ・ 「なやみアンケート」「生活アンケート」
- ・ 「人権感覚育成プログラム」の活用と早期の対応

◇ 読書の習慣を育む

- ・ 各種たより等での本の紹介
- ・ 「読書名人」の取組

◇ スタディーウィークの取組

- ・ 児童の発想を生かしたたてわり活動

◇ 絆を育てる集団活動の充実

- ・ 児童の発想を生かしたたてわり活動

質の高い魅力的な教育活動の推進

<目指す教師像>

情熱・力量・人間力のある子どもにとって
最良のモデルとなる教職員

- 学び続け、学んだ事をアウトプットすることができる
- 相互利益を目指したコミュニケーションを図ることができる
- 多様な考えを持つ他者と協働して成果を出すことができる
- 自己が陥りがちな思い込みの傾向を理解できる

◇ 個々の資質・技術向上

- ◎ 〇J Tの推進 年次研修の効果的な活用
- ・ 教育活動の目的意識化
- ・ 発達の理解（特別支援教育理解）
- ・ 学習指導・生活指導技術の向上
- ◇ 意図の明確な教師行動
- ◇ （発問、見届ける位置、具体的肯定的な言葉かけ）
- ◇ 「ナイス、トライ！」を伝える
- ◇ ケーススタディによる具体的対応
- ◇ 動画記録・アンケートを活用した自己評価
- ・ プレゼンテーション能力の向上（ICT等の活用）
- ・ 人間関係調整力の向上（外部との折衝・連携）
- ◎ 働き方改革による授業改善、子供と向き合う時間の確保

◇ 組織的な学校運営の実現

- ・ 5S（整理 整頓 清掃 清潔 躰）の徹底
- ◎ 働き方改革推進会議（カエル会議）の実施と改善活動
- ◎ 予告 確認 連絡 報告 相談の徹底
- ・ 意思決定システムの順守
- ・ 校務支援システムの活用
- ・ 諸会議の精選と効率化
- ・ ケース会議の活用（いじめ、不登校、就学支援）
- ・ 予算執行管理の徹底とコスト意識高揚（時間、経費）
- ・ 個々の創意工夫と挑戦を生かす（以下の視点で）
- ・ 子どものためになるか
- ・ 保護者・地域の理解を得られるか
- ・ 困難があっても説得することができるか
- ◎ 服務規律の徹底とマナーの向上
- ・ 法令の遵守（教職員事故防止）
- ・ 接遇能力の向上（電話対応 来客対応）

質の高い効率的な組織運営の実現

学校のあるべき姿を目指した改善活動

◇ 学校評価の充実

- ・ カリキュラムマネジメント
- ・ 教育課程の改善（教育内容 教育の質）
- 組織マネジメント
- ・ 管理職のリーダーシップ（方略・時期を明確にした指示）
- ・ 組織運営の質の向上（事務の正確性、効率化）
- ・ 児童・保護者への対応
- ・ 地域への貢献

◇ 自己評価の質の向上

- 自律的PDCAサイクルの確立
- ・ 教師行動を中心とした授業分析
- ・ 各種学力調査結果の活用
- ・ 児童による授業評価分析
- ・ 校務支援システムの活用

◇ 関係諸機関との連携を通じた改善活動

- ◎ コミュニティースクールの導入・推進
- （地域学校協働活動の推進）
- 児童・保護者との協働をすすめる
- ・ アンケートの改善・広報（HP、各種たより）の推進
- ・ PTA、学校応援団との連携
- ・ 児童主体の活動の改善